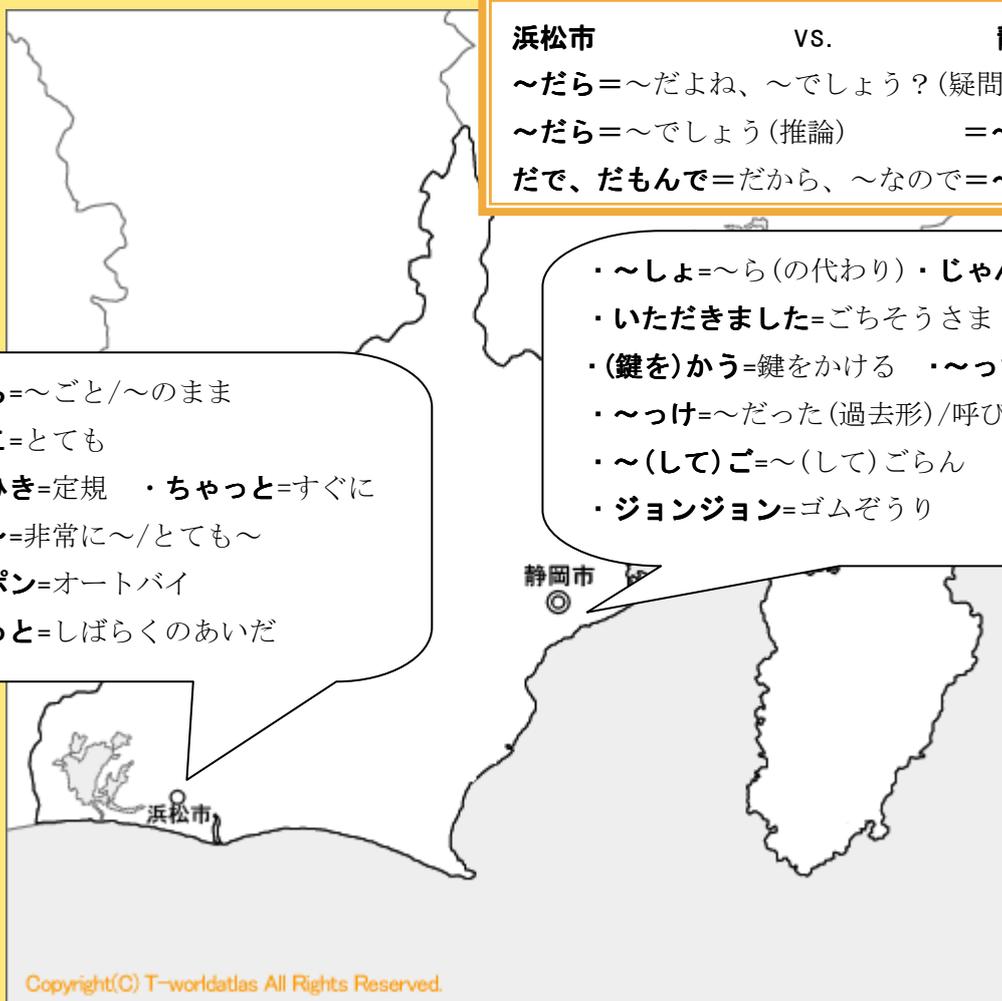


# HGU Library News No.6

## 『静岡県特集』 →今回は方言♪

今回は地域にスポットを当てます。近頃、観光や食、文化等その地域の特色がよくテレビや雑誌で紹介されています。そこで静岡県民(ここでは浜松市と静岡市)の方言について特集します。次ページではそれに続き、地域に関するおすすめ本を紹介していきます。



**浜松市** vs. **静岡市**  
～だら=～だよ、～でしょう？(疑問)=～ら？  
～だら=～でしょう(推論) =～ら  
だで、だもんで=だから、～なので=～んて

- ・～さら=～ごと/～のまま
- ・がんこ=とても
- ・せんひき=定規 ・ちゃっと=すぐに
- ・ばか～=非常に～/とても～
- ・ポンポン=オートバイ
- ・や～っと=しばらくのあいだ

- ・～しょ=～ら(の代わり)・じゃんか=じゃないか
- ・いただきました=ごちそうさま
- ・(鍵を)かう=鍵をかける ・～っち=～のうち(家)
- ・～つけ=～だった(過去形)/呼びかけ
- ・～(して)ご=～(して)ごらん
- ・ジョンジョン=ゴムぞうり

### 方言本紹介

『しずおか方言考 読んでごろじ』 富山昭 著 静岡新聞社 1997年 ([098||To](#))

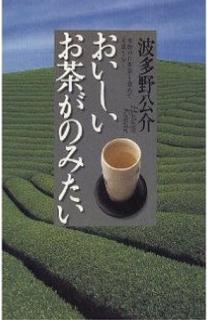
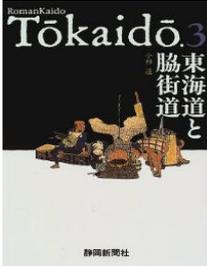
『え～らしぞーか—静岡県方言誌—』 富山昭 著 静岡新聞社 2007年 ([098.1||To](#))

『しずおか方言風土記』 山口幸洋 著 静岡新聞社 1999年 ([098||Ya](#))

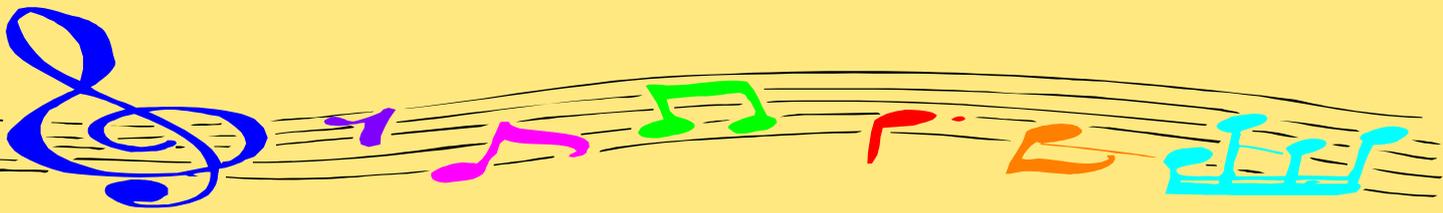
上記の本は本学の図書館にありますので、ぜひ一度読んでみてください。



# ライブラリーメイトのおすすめ本(地域本特集)

	<p><b>『おいしいお茶がのみたい』 波多野公介 著</b>  <b>PHP 研究所 1996 年</b></p> <p>静岡と言えばやはりお茶だろうか。過去、静岡などで地方記者を務めたこともある著者が産地を歩いている。生産者の現実の声が伝わってくる。おいしいお茶を心の底から飲みたいと思った。茶の品種や県下の品種茶取り扱い店も解説がされている。  <i>(滑原由利子)</i></p>
	<p><b>『東海道と脇街道』 小杉達 著 静岡新聞社 1997 年</b></p> <p>東海道から枝分かれする脇街道に焦点を当てた。根幹ではないが、なくてはならない地方道。東海道より道は細くなり、施設は貧弱にはなるが、往来する人の数は決して少なくない。東から、下田街道、甲州街道、身延街道、田沼街道、秋葉街道、姫街道の6つを取り上げている。  <i>(青木智恵美)</i></p>
	<p><b>『静岡のわらべ歌』 堀場宗泰 著 柳原書店 1984 年</b></p> <p>静岡県の各地に伝承されてきたわらべ歌のうち、主として、明治期から昭和期にうたわれたものを採集採譜し、語句・遊戯法・関連民俗・歴史などの解説を加え、更に類歌・参考歌を付した総合的わらべ歌資料集。  <i>(加藤智香)</i></p>
	<p><b>『浜松 ふしぎ物語』 神谷昌志 著 郷土出版社 1994 年</b></p> <p>遠州に伝わるふしぎな話をまとめた一冊。おすすめは『幻の寺鍛冶町浄鏡院の消息』『西光寺日鑑』にみる尼僧妙円の死』。(浜松の街にある)黒田稲荷に関係するお話です。ふしぎな話大好き！という人は、ぜひ読んでみてください。  <i>(井下なつみ)</i></p>
	<p><b>『しゃべるずら 静岡弁』 全国方言研究会 編 リベラル社 2009 年</b></p> <p>地域の特徴といったらまず方言から!! 私達の知っている馴染みのある言葉から、意外に知らなかった言葉まで。ハンドブック的な本なので手軽に読めるかもです。私はあまり知らなかったもので、面白かったです(笑)。  <i>(池谷京子)</i></p>





	<p><b>『静岡県の歴史散歩』 静岡県日本史教育研究会 編 山川出版社 2006年</b></p> <p>カラー写真を使っているのでカラフルなページもあります。場所の説明や由来が書かれているのでわかりやすいです。最後のページには索引も載っているので、行きたい場所から検索することも出来ます。何分かかるかも書いてあり、便利です。 (杉浦実香)</p>
	<p><b>『俺は中小企業のおやし』 鈴木修 著 日本経済新聞出版社 2009年</b></p> <p>徹底して現場にこだわり強いリーダーシップで数々の苦境を乗り越え、社長就任時に売上高 3232 億円だったスズキを 3 兆円企業にまで育て上げた鈴木修会長。小さな車づくり、現地生産など、スズキを支えた多くのアイデアを持つ鈴木修氏が世界自動車不況に敢然と立ち向かう。巻末には多くの名言を記した「オサム語録」を収録。 (高田耀平)</p>
	<p><b>『浜松 上等なランチ』 マイルスタッフ 著 メイツ出版 2007年</b></p> <p>今月は給料がだいぶ余ってるし、久しぶりに自分にご褒美を！そんな、ちょっぴり贅沢な大人の楽しみ方をするあなたに……。ちょっとセレブな浜松の、上質なお店のランチを載せた一冊。「浜松 上等なディナー」「浜松 おいしいケーキ屋さん」もあります。 (高田耀平)</p>

**地域の花・木・鳥**

静岡県：花・つつじ 木・もくせい 鳥・さんこうちょう  
 静岡市：花・タチアオイ 木・ハナミズキ 鳥・カワセミ  
 浜松市：花・ミカン 木・まつ 鳥・うぐいす



## 図書館カウンターからのお知らせ

2010年は国民読書年です。大学生が友達にすすめる本のアンケートを学内で募集したところ、小説を中心に25冊の推薦がありました。図書館では入手できる本を購入し、皆さんに提供しています。名作をはじめ新作や文庫本もあるので、気軽にお読みいただけます。書名(タイトル)は館内に掲示していますので、是非読んでみてください。

## ライブラリーメイトの紹介

### 現コミ4年 渭原由利子

辞書や事典を見ていると、とても幸せな気分になります。今後も多くの本と出会いたいです。

おすすめ本：『音の晚餐』 林望 著

『若き数学者のアメリカ』 藤原正彦 著

### 子コミ4年 加藤智香

イラスト系の雑誌、絵の綺麗な絵本、漫画が好きです。

おすすめ本：『10までかぞえられるこやぎ』

アルフ・ブリョイセン 著

### 地共1年 池谷京子

NEWS好きのジャニっ子です(特に山P&手越さん)。好きなのは畠中恵(というか『しゃばげ』シリーズ)。あまり難しい本読めません(汗)。

おすすめ本：『しゃばげ』 畠中恵 著

『WILD LIFE』 藤崎聖人 著

### 子コミ1年 高田耀平

マンガとミステリー好きな子コミ1年です。

愛知県豊橋市から通ってます。

おすすめ本：『不気味で素朴な困われた世界』

西尾維新 著

『コズミック』 清涼院流水 著

### 子コミ4年 青木智恵美

子どもが大好きで、地元で子どもと関わるボランティアをしています♪

おすすめ本：『しにがみのバラッド』①②

ハセガワケイスケ 著

### 地共1年 井下なつみ

地共1年です。これからもよろしくお願います。

おすすめ本：『少年陰陽師 異邦の影を探し出せ』 結城光流 著

『今日から〇マのつく自由業!』

喬林知 著

### 地共1年 杉浦実香

ミステリーや冒険小説を読むのが好きです。

おすすめ本：『フェネル大陸』

高里椎奈 著

『学園キノ』 時雨沢恵一 著

### 子コミ 高山静子

目標 月50冊。研究室にいないときは、図書館か保育実習室にいます。

おすすめ本：『愛しすぎる女たち』

ロビン・ノーウッド 著

